

2021年度

沖縄原宿会 公開研究会

主催 沖縄原宿会（日本社会事業大学沖縄県支部）
共催 おきなわ地域福祉研究会
協賛 沖縄県ソーシャルワーカー協議会
後援 沖縄県社会福祉協議会

開催日時

2022年 3月19日(土曜日)
13:30~16:00

参加無料

オンライン開催 ZOOM

テーマ

研究者、実践者としてこだわり続けてきた
支援観・人間観（福祉哲学）



講師

大橋 謙策 先生

公益財団法人テクノエイド協会理事長
日本地域福祉研究所理事長
日本社会事業大学名誉教授 元東北福祉大学大学院教授

申込方法



2022年3月12日(土)までに
上記QRコードまたは、
左記のURLから申し込みください。



<https://forms.gle/jxPYBB7VuSPCsju36>



tamaki@okinawa-u.ac.jp



090-4584-6970



098-832-3212

開催趣旨

社会福祉の実践現場は、新型コロナウイルスの感染拡大によりこれまでの社会にあり方が問い直されると同時に、貧困、孤立、排除など社会生活の困難さが複雑さを増し、それらの人々の社会生活課題への対応が難しくなっています。

そのような状況のなか、社会福祉の実践者には今まで以上に専門職としての役割認識に基づいた高度な対人援助の活動が求められています。

にも拘わらず、社会福祉の実践者の日常においては、目先の事象への対応に追われていて、支援の方策を見出すことに困難が生じ、パワーレスな状態に陥ってはいないでしょうか。

今回の公開研究会は、昨年に引き続き大橋謙策先生を講師として招き、先生が研究・実践のなかで考え続けてきた、福祉哲学に焦点をあてて話をうかがいます。社会福祉の実践者・研究者に対する先生の厳しいご指摘の背景にある、ご自身の経験や考えを聴くことをとおして、参加者が自らの仕事を省察するとともに、実践領域を越えて、社会福祉の支援のもつ意味を考える機会としたいと思います。

講師 大橋謙策 先生

公益財団法人テクノエイド協会理事長

日本地域福祉研究所理事長

日本社会事業大学名誉教授 元東北福祉大学大学院教授

テーマ

「研究者、実践者としてこだわり続けてきた支援観・人間観（福祉哲学）」

参加対象 沖縄原宿会会員、社会福祉士・精神保健福祉士等社会福祉専門職、社会福祉教育・研究者、県及び市町村福祉行政職員、おきなわ地域福祉研究会会員、県及び市町村福祉行政職員、学生、相談支援専門員、介護支援専門員、地域包括支援センター職員、開催趣旨に関心がある方

参加費 無料

開催方法 オンライン研修 (ZOOM)
お申し込み後、開催前日までにURLを送信します。

申込方法 2022年3月12日 (土) までに
下記アドレスからお申し込みください。
(Google Formに必要事項入力)
<https://forms.gle/jxPYBB7VuSPCsj36>

お問い合わせ先 沖縄大学 人文学部福祉文化学科
玉木千賀子
メール tamaki@okinawa-u.ac.jp
携帯 090-4584-6970
電話 098-832-3212

時間	内容
13:30~13:40	主催者挨拶、留意事項の説明
13:40~14:30	講義(前半)
14:30~14:40	休憩
14:40~15:40	講義(後半)
15:40~15:55	質疑応答
15:55~16:00	閉会のあいさつ